

 遠州トラック



# 遠州トラック株式会社

## 2026年3月期 決算説明会

2026年5月20日

<b>I . 2026年3月期決算の概要</b>	4	<b>Ⅲ.遠州トラックの強み・取り組み</b>	27
2026年3月期決算のハイライト	5	Ⅲ- 1. 遠州トラックの強み	28
I - 1. 2026年3月期決算の概要	7	Ⅲ- 2. 中継輸送の取り組み	34
I - 2. 業績推移（四半期）	10	Ⅲ- 3. 安全・品質に対する取り組み	38
I - 3. セグメント別営業収益	11	Ⅲ- 4. 地域貢献・社会貢献	39
I - 4. セグメント別営業利益	14	<b>Ⅳ.中期経営計画（2026～2030年度）</b>	40
I - 5. 財政状態	16		
I - 6. キャッシュ・フローの状況	19	<b>将来情報に関するご注意</b>	
<b>II . 2027年3月期見通し</b>	22	本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありえますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。	
II - 1. 業績の通期見通し	23		

# I . 2026年3月期決算の概要

## ■ 営業収益は前年比+2.7%、営業利益は△4.1%と増収減益

営業収益は10期連続の増収で過去最高を記録

**一般貨物の取扱拡大に努めたこと、日用品等の生活関連貨物が堅調に推移したこと、輸送用機器向けの部品の取扱が増加したことなどから増収。外注費や人件費増加分の転嫁が進捗せず減益。**

### ① 輸送部門（構成比73.6%）

インターネット通販向け輸送業務が伸び悩んだものの、一般貨物の取扱拡大に努めたこと、飲料等の輸送業務を積極的に取り込んだことから、営業収益は前期比 2.1%の増収

### ② 倉庫部門（構成比26.1%）

日用品等の生活関連貨物が堅調に推移したこと、袋井LSCでの輸送用機器向けの部品の取扱が増加したことから、営業収益は前期比 4.4%の増収

### ③ 物流事業全体

営業収益は、前期比 2.7%の増収

### ④ 営業利益

運行効率の改善に努めたものの、外注費および人件費増加分の転嫁が進捗せず、前期比4.1%の減益

## ■ 株主還元

- ・ 1株当たり配当金は、96円を維持（配当性向31.8%）
- ・ 当期（2027年3月期）は中期経営計画の目標である配当性向30%以上を予定  
1株当たり配当金は、年間96円を公表

# I - 1. 2026年3月期決算の概要

(単位：百万円)

連結	2025年3月期		2026年3月期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	<b>48,631</b>	-	<b>49,947</b>	-	1,315	2.7%
営業利益	<b>3,239</b>	<b>6.7%</b>	<b>3,108</b>	<b>6.2%</b>	△131	△4.1%
経常利益	<b>3,312</b>	<b>6.8%</b>	<b>3,109</b>	<b>6.2%</b>	△203	△6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	<b>2,390</b>	<b>4.9%</b>	<b>2,257</b>	<b>4.5%</b>	△132	△5.5%
1株当たり当期純利益 (円)	<b>319.96</b>	-	<b>302.14</b>	-	△17.82	-
1株当たり年間配当金 (円)	<b>96.00</b>	-	<b>96.00</b>	-	0.00	-

# I - 1. 2026年3月期決算の概要

(単位：百万円)

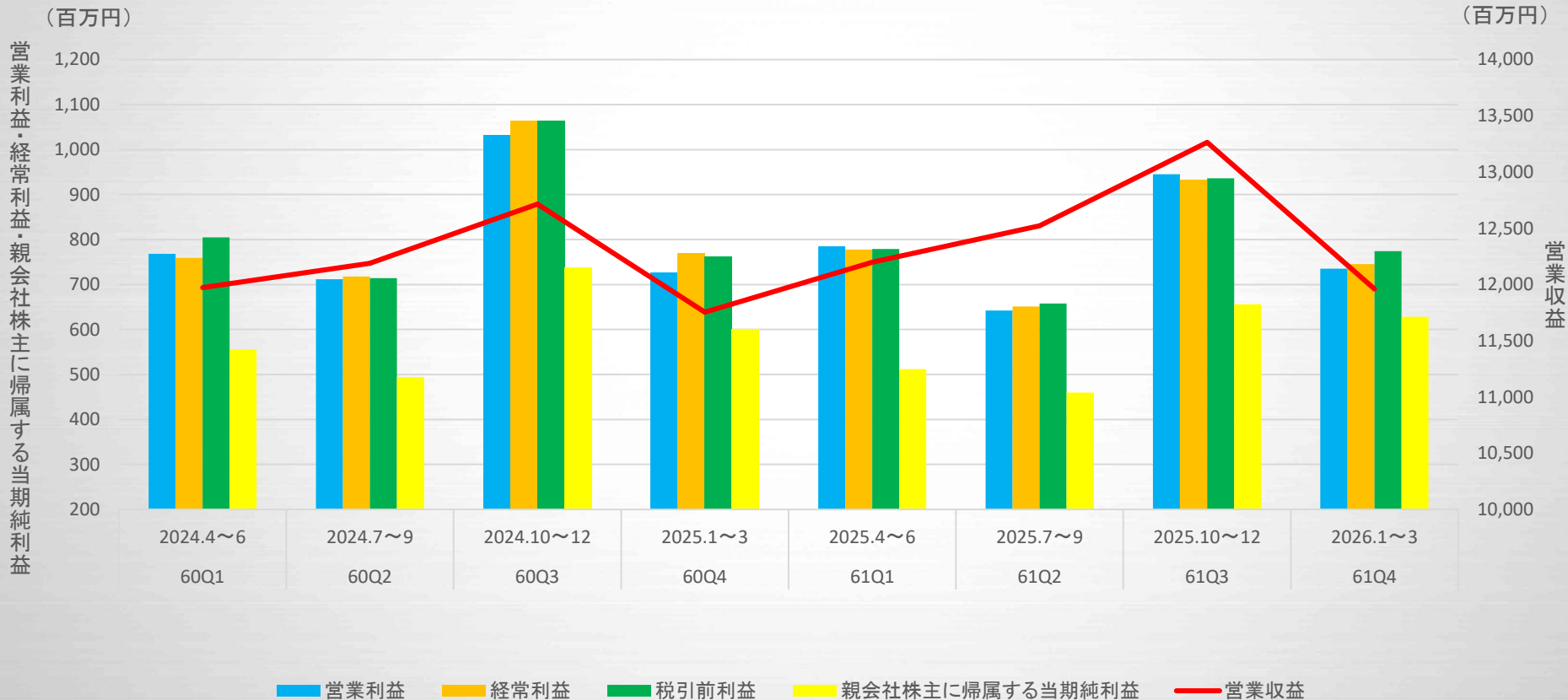
連結	2025年3月期		2026年3月期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	48,631	-	<b>49,947</b>	-	1,315	2.7%
<p>輸送部門では、インターネット通販向け輸送業務が伸び悩んだものの、一般貨物の取扱拡大に努めたこと、飲料等の輸送業務を積極的に取り込んだこと、倉庫部門では、日用品等の生活関連貨物が堅調に推移したこと、輸送用機器向けの配送センター業務が増加したことなどから、営業収益は2.7%増収</p>						
営業利益	3,239	6.7%	<b>3,108</b>	<b>6.2%</b>	△131	△4.1%
<p>同業からの業務も取り込み運行効率の改善に努めたものの、外注費および人件費増加分の転嫁が進捗せず、前期比4.1%の減益</p>						

# I - 1. 2026年3月期決算の概要

(単位：百万円)

連結	2025年3月期		2026年3月期		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
経常利益	3,312	6.8%	<b>3,109</b>	<b>6.2%</b>	△203	△6.1%
営業利益の減少等により、前期比6.1%減益						
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,390	4.9%	<b>2,257</b>	<b>4.5%</b>	△132	△5.5%
経常利益の減少等により、前期比5.5%減益						
1株当たり当期純利益 (円)	319.96	-	<b>302.14</b>	-	△17.82	-
1株当たり年間配当金 (円)	96.00	-	<b>96.00</b>	-	0.00	-

# I - 2. 業績推移 (四半期)



# I - 3. セグメント別営業収益

(単位：百万円)

区分	2025年3月期	2026年3月期	増減	
<b>1. 物流事業</b>	<b>48,484</b>	<b>49,776</b>	<b>1,292</b>	<b>2.7%</b>
輸送部門	36,001	36,749	748	2.1%
倉庫部門	12,483	13,027	544	4.4%
<b>2. その他（不動産事業等）</b>	<b>146</b>	<b>170</b>	<b>23</b>	<b>16.1%</b>
計	<b>48,631</b>	<b>49,947</b>	<b>1,315</b>	<b>2.7%</b>

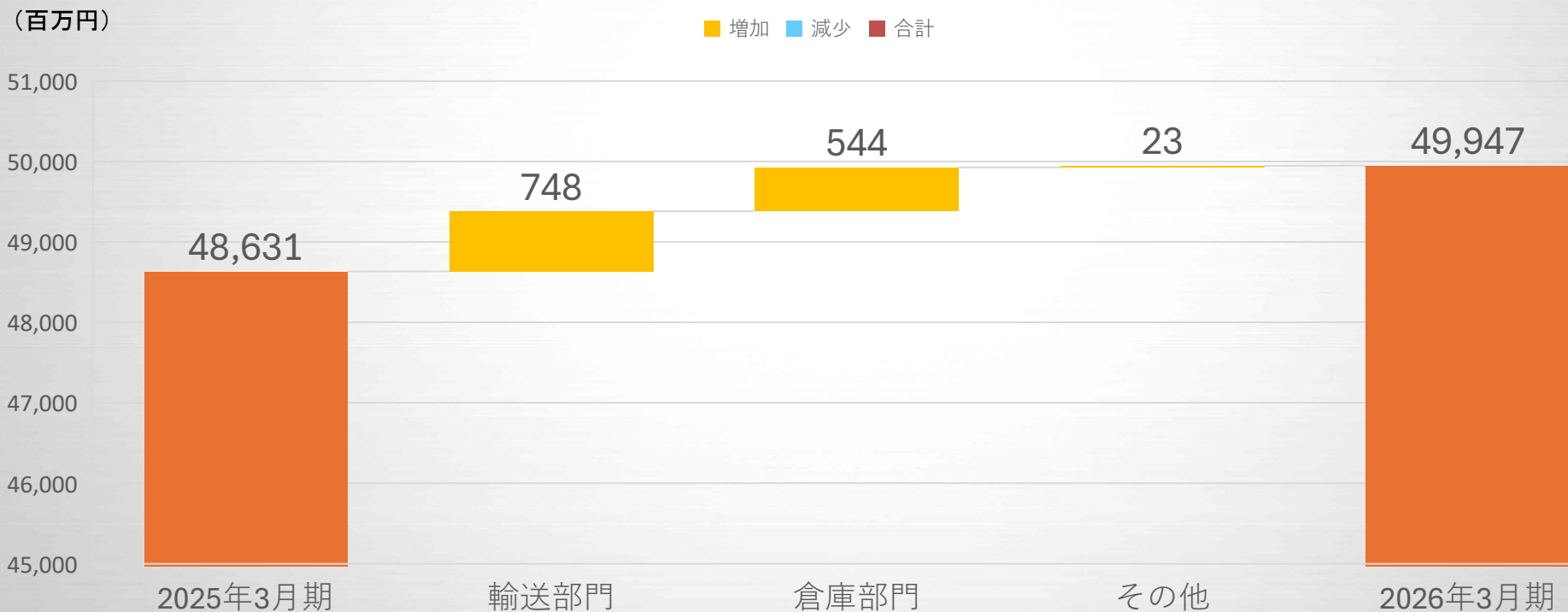
# I - 3. セグメント別営業収益

(単位：百万円)

区分	2025年3月期	2026年3月期	増減	
<b>1. 物流事業</b>	<b>48,484</b>	<b>49,776</b>	<b>1,292</b>	<b>2.7%</b>
輸送部門 (構成比73.6%)	36,001	36,749	748	2.1%
<p>インターネット通販向け輸送業務が伸び悩んだものの、一般貨物の取扱拡大に努めたこと、飲料等の輸送業務や同業からの業務も積極的に取り込んだことなどから、営業収益は前期比 2.1%の増収</p>				
倉庫部門 (構成比26.1%)	12,483	13,027	544	4.4%
<p>日用品等の生活関連貨物が堅調に推移したこと、輸送用機器向けの配送センター業務が増加したことなどから、営業収益は前期比 4.4%の増収</p>				
<b>2. その他 (不動産事業等)</b>	<b>146</b>	<b>170</b>	<b>23</b>	<b>16.1%</b>
<b>計</b>	<b>48,631</b>	<b>49,947</b>	<b>1,315</b>	<b>2.7%</b>

# I - 3. セグメント別営業収益

セグメント別営業収益



# I - 4. セグメント別営業利益

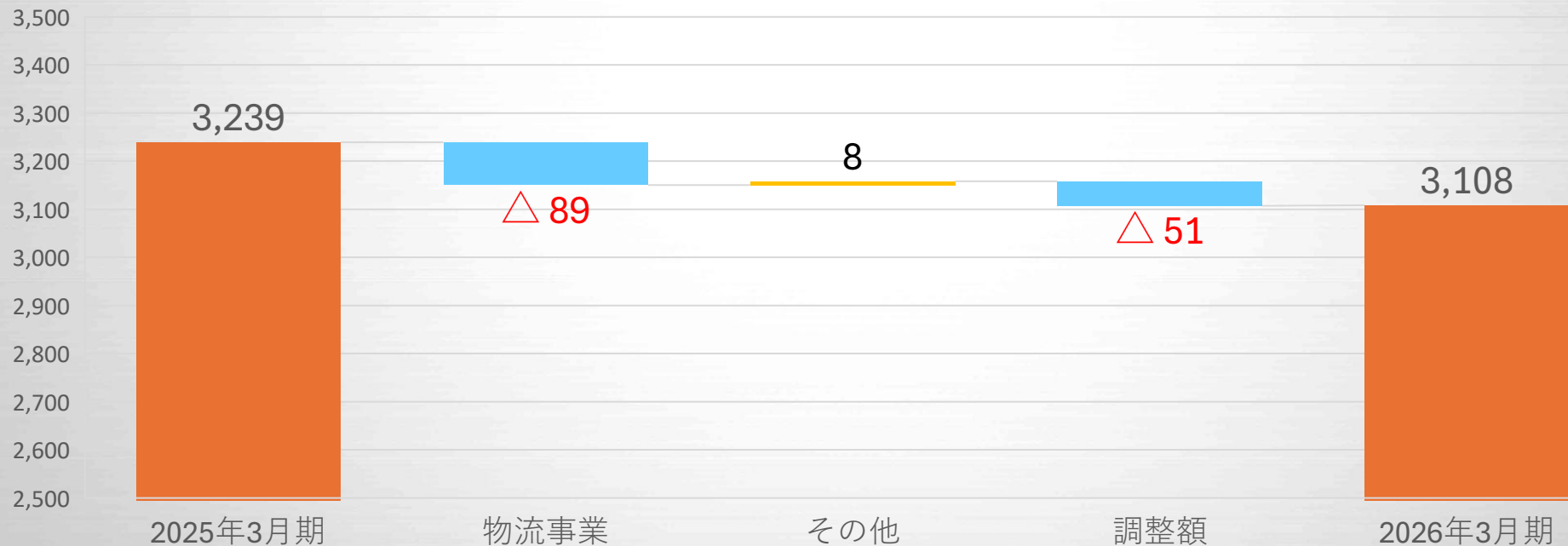
(単位：百万円)

区分	2025年3月期	2026年3月期	増減	
1. 物流事業	4,200	<b>4,111</b>	△89	△2.1%
2. その他	75	<b>83</b>	8	11.4%
<b>計</b>	4,275	<b>4,195</b>	<b>△80</b>	<b>△1.9%</b>
調整額	△1,035	<b>△1,087</b>	△51	5.0%
<b>連結財務諸表 営業利益</b>	3,239	<b>3,108</b>	<b>△131</b>	<b>△4.1%</b>

# I - 4. セグメント別営業利益

セグメント別営業利益

■ 増加 ■ 減少 ■ 合計



# I - 5. 財政状態

(単位：百万円)

区分	2025年3月期末	2026年3月期末	増減
総資産	40,078	<b>39,764</b>	△314
負債	16,873	<b>15,041</b>	△1,832
純資産	23,204	<b>24,722</b>	1,518
(自己資本)	(23,204)	<b>(24,722)</b>	(1,518)
自己資本比率	57.9%	<b>62.2%</b>	+4.3pt
1株当たり純資産 (円)	3,106.12	<b>3,308.05</b>	201.93

# I - 5. 財政状態

(単位：百万円)

区分	2025年3月期末	2026年3月期末	増減
総資産	40,078	<b>39,764</b>	△314
白鳥西チルドセンター取得や新基幹システム構築により固定資産は増加したものの、長期借入金の返済等により現金及び預金が減少し、前期末比で3億14百万円の減少			
負債	16,873	<b>15,041</b>	△1,832
長期借入金の返済等により、前期末比で18億32百万円の減少			

# I - 5. 財政状態

(単位：百万円)

区分	2025年3月期末	2026年3月期末	増減
純資産	23,204	<b>24,722</b>	1,518
利益剰余金の増加等により、前期末比で15億18百万円の増加			
(自己資本)	(23,204)	<b>(24,722)</b>	(1,518)
自己資本比率	57.9%	<b>62.2%</b>	+4.3pt
1株当たり純資産 (円)	3,106.12	<b>3,308.05</b>	201.93

# I - 6. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2025年3月期	2026年3月期	増減
営業活動によるCF	4,825	<b>2,745</b>	△2,080
投資活動によるCF	△729	△ <b>2,517</b>	△1,787
財務活動によるCF	△2,452	△ <b>2,100</b>	351
現金及び現金同等物の 期末残高	7,400	<b>5,528</b>	△1,872

# I - 6. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2025年3月期	2026年3月期	増減
営業活動によるCF	4,825	<b>2,745</b>	△2,080
税金等調整前当期純利益及び減価償却による資金の留保などにより、当期は27億45百万円の獲得			
投資活動によるCF	△729	<b>△2,517</b>	△1,787
固定資産の取得による支出などにより、25億17百万円の支出			

# I - 6. キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

区分	2025年3月期	2026年3月期	増減
財務活動によるCF	△2,452	<b>△2,100</b>	351
長期借入金の返済及び配当金の支払いなどにより、当期は21億円の支出			
現金及び現金同等物の 期末残高	7,400	<b>5,528</b>	△1,872
前期比18億72百万円の減少			

## Ⅱ . 2027年3月期見通し

## Ⅱ - 1. 業績の通期見通し

(単位：百万円)

連結	2026年3月期 実績		2027年3月期 見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	49,947	-	<b>52,400</b>	-	2,452	4.9%
営業利益	3,108	6.2%	<b>3,200</b>	<b>6.1%</b>	91	3.0%
経常利益	3,109	6.2%	<b>3,200</b>	<b>6.1%</b>	90	2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,257	4.5%	<b>2,100</b>	<b>4.0%</b>	△157	△7.0%
1株当たり当期純利益 (円)	302.14	-	<b>281.02</b>	-	△21.12	-
1株当たり年間配当金 (円)	96.00	-	<b>96.00</b>	-	0.00	-
配当性向	31.8%	-	<b>34.2%</b>	-	+2.4pt	-

## Ⅱ - 1. 業績の通期見通し

(単位：百万円)

連結	2026年3月期 実績		2027年3月期 見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
営業収益	49,947	-	<b>52,400</b>	-	2,452	4.9%
中継輸送貨物の獲得と一般貨物や輸送機器向け配送センター業務の増加、既存荷主のシェア拡大により、前期比4.9%の増収を見込む						
営業利益	3,108	6.2%	<b>3,200</b>	<b>6.1%</b>	91	3.0%
営業収益の増加及び効率化と価格転嫁交渉の進捗により、前期比3.0%の増益を見込む						

## Ⅱ - 1. 業績の通期見通し

(単位：百万円)

連結	2026年3月期 実績		2027年3月期 見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
経常利益	3,109	6.2%	<b>3,200</b>	<b>6.1%</b>	90	2.9%
営業利益の増加により、前期比2.9%の増益を見込む						
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,257	4.5%	<b>2,100</b>	<b>4.0%</b>	△157	△7.0%
経常利益は増加するものの、賃上げ促進税制による法人税額の特別控除の剥落により、前期比7.0%の減益を見込む						

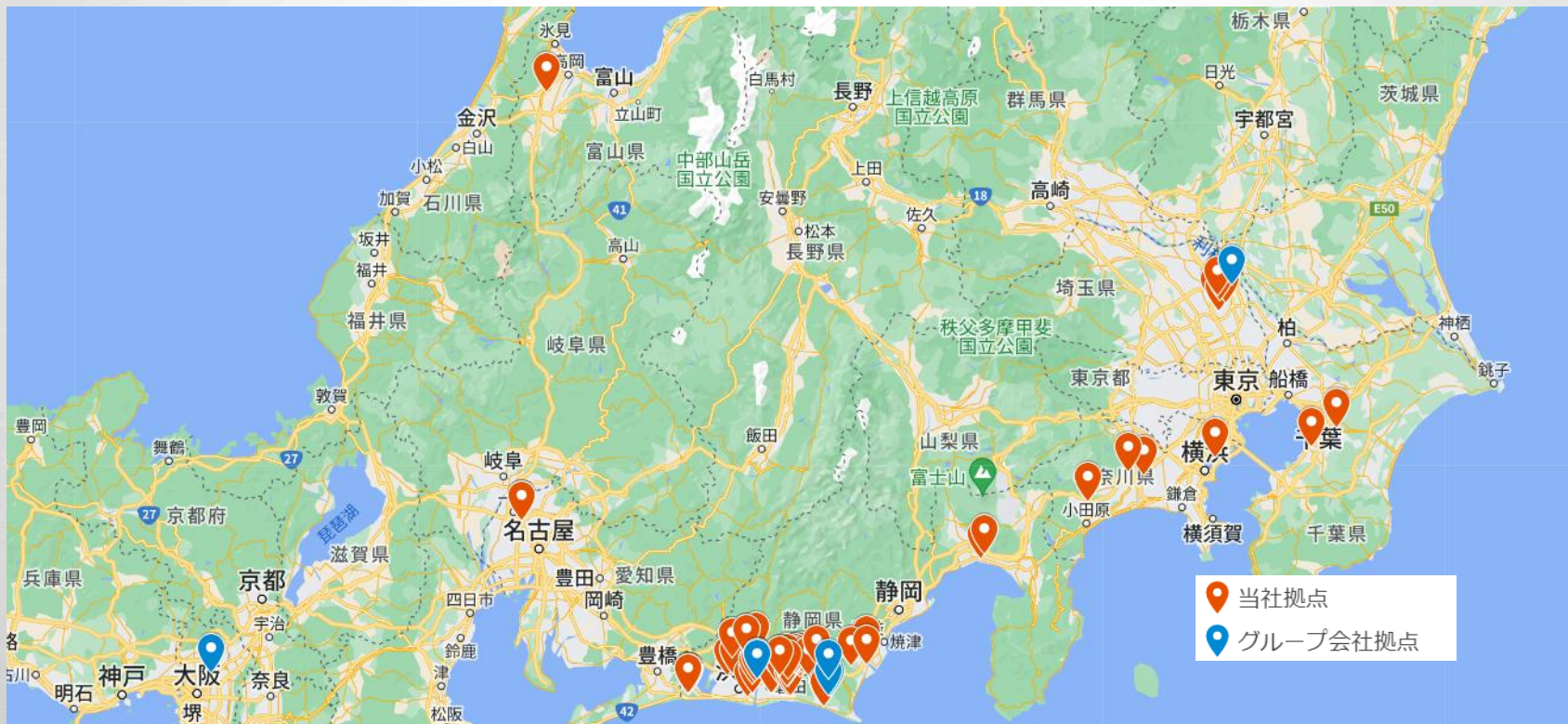
## Ⅱ - 1. 業績の通期見通し

連結	2026年3月期 実績		2027年3月期 見通し		増減	
	金額	収益比	金額	収益比	金額	比率
1株当たり当期純利益 (円)	302.14	-	<b>281.02</b>	-	△21.12	-
1株当たり年間配当金 (円)	96.00	-	<b>96.00</b>	-	0.00	-
普通配当96円（中間配当48円、期末配当48円）を予定						
配当性向	31.8%	-	<b>34.2%</b>	-	+2.4pt	-

## Ⅲ.遠州トラックの強み・取り組み

# Ⅲ - 1. 遠州トラックの強み①

## (1) 関東-関西間に多数の「現場」(物流資産)を所有



# Ⅲ - 1. 遠州トラックの強み①

(2) 自社車両を500台以上保有し、豊富な車種ラインナップで、多様化するニーズに柔軟に対応。



セミトレーラ ウイング



増トン 低床ウイング



4トン ウイング



2トン ウイング



引越センター仕様



株式会社アクタス様仕様



株式会社カインズ様仕様



横浜ゴム株式会社様仕様

(3) 多種多様な物流倉庫のラインナップで、多様なニーズに対応。

自動化・無人化システムを積極的に導入し、物流センターを効率的に運営。



袋井ロジスティクスセットセンター



都田第2倉庫



掛川西郷倉庫



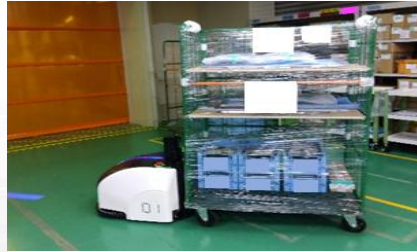
白鳥西チルドセンター



細江定温危険物倉庫



無人搬送ロボット



無人搬送ロボット



仕分けソーター

## (4) お客様のニーズに合わせ、協力会社と提携しながら拠点を新設し、 最適な物流サービスを提供

### 当社グループの体制の強み

- ・車両 520台以上
- ・全国 27拠点
- ・配車センター配置  
(24時間体制・集中管理)
- ・中継拠点の設置
- ・ドライバー教育の充実
- ・自社整備体制



### 顧客の需要

- ・物量変動に対する柔軟な対応
- ・イレギュラーに対する迅速な対応
  - ・安心安全な輸送
  - ・最適な物流提案

### 協力会社と提携して

- ・日本全国に約400社
- ・日本全国への配送網
- ・ドライバー教育の充実



取引先や取扱製品が工業系から商業系まで多岐にわたり、かつバランスが取れており、リスク分散がしやすい。

#### 工業系貨物・商業系貨物構成比



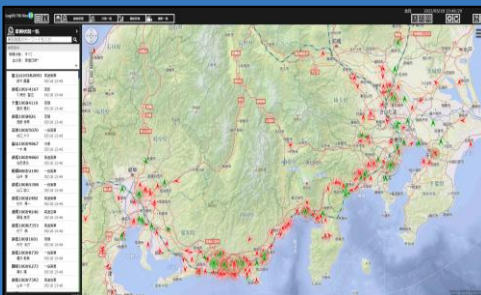
先端技術の積極的な導入により、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進、物流サービスのイノベーションに挑戦。

## 最新技術の導入



効率化・省人化

## AI、IoT、RPAの活用



生産性向上

## 自動配車システムを 全社展開



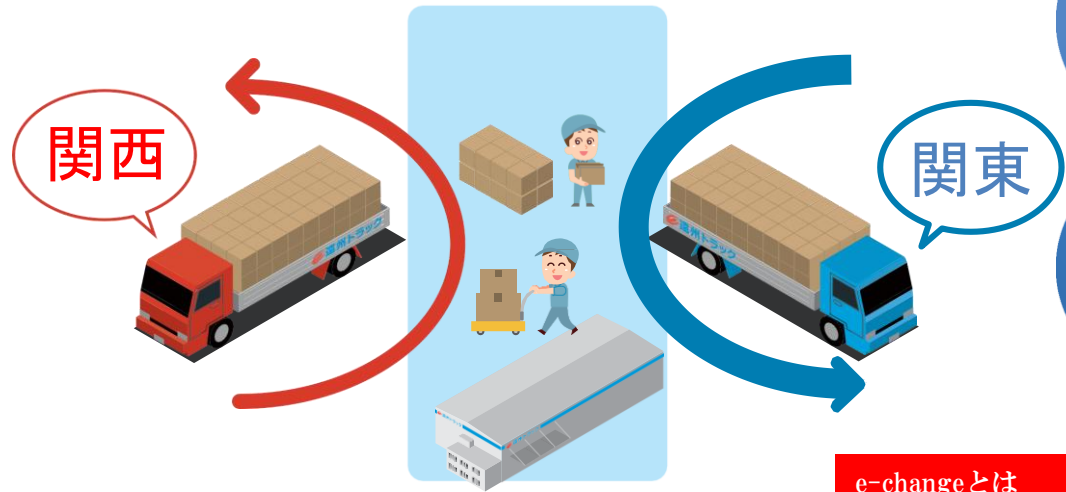
全社最適で効率的な  
配車を実現



**中継輸送**  つなく つながる 乗りかえる!!  
日本の真ん中で e-change!!  
e-change

**CA**  
コネクトエリア  
浜松

乗務員が日帰りできる  
関東・関西間の物流サービス



お客様の  
長距離輸送の  
集車難解消

ドライバーの  
負担の軽減

ホワイト  
物流を推進

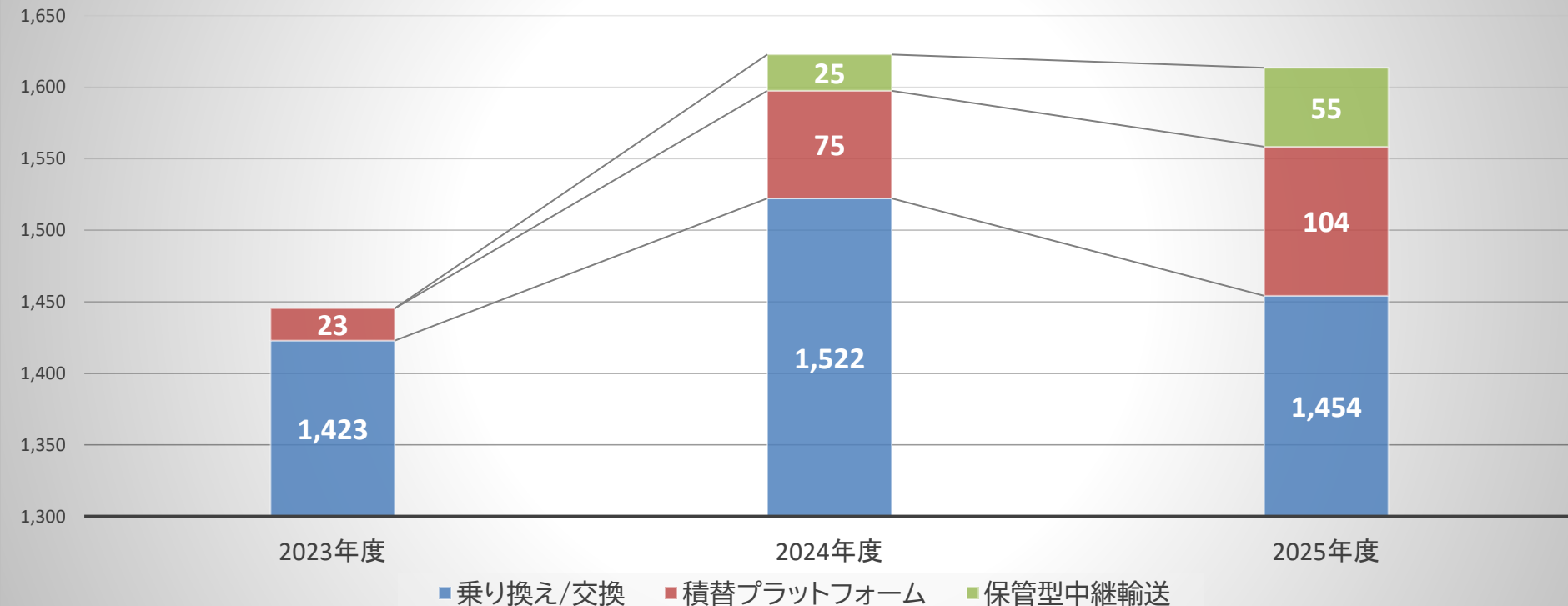
2024年問題  
に対応

e-changeとは  
eコマース、exchange（交換）と当社名の頭文字から名付けた  
中継輸送を表す商標です。

## Ⅲ - 2. 中継輸送の取り組み

### 中継輸送獲得推移

(百万円)



## Ⅲ - 2. 中継輸送の取り組み

コネクティア浜松は、物流に関わる全ての事業者が利用可能です。



中継輸送とは、中継拠点で**ドライバー交替**または**ヘッド交換**により積荷を交換するもので宿泊付きの長距離運行を複数のドライバーで中継することにより、各ドライバーが日帰り勤務できるようになる仕組みです。  
労働時間短縮、労働負担軽減など労働環境の改善が期待され、働き方改革に繋がります。  
『NEXCO中日本』と『遠州トラック(株)』は『新東名高速道路 浜松サービスエリア』に共同で中継物流拠点は『コネクティア浜松』を整備し、運営・管理、運用支援を行っています。



## Ⅲ - 2. 中継輸送の取り組み

コネクティア 月間利用台数

前年同期比:107.9%  
(2025/04~2026/03)

(台)

1,500  
1,400  
1,300  
1,200  
1,100  
1,000  
900  
800  
700  
600  
500

2021年8月 2021年10月 2021年12月 2022年2月 2022年4月 2022年6月 2022年8月 2022年10月 2022年12月 2023年2月 2023年4月 2023年6月 2023年8月 2023年10月 2023年12月 2024年2月 2024年4月 2024年6月 2024年8月 2024年10月 2024年12月 2025年2月 2025年4月 2025年6月 2025年8月 2025年10月 2025年12月 2026年2月

## ●シミュレーター研修

トラックシミュレーターを使用して、危険予知運転を体験。  
また実写では体験できない危険場面を体験する事が可能。



遠州トラック

## ●安全道場

実際に事故・危険を**体感**させ、安全基本動作を**体験**させることにより、**安全意識**が高く、**現場で行動**できる社員を育成。



遠州トラック

## ●フォークリフト研修

フォークリフト事故の発生状況や当社のルールを説明。  
VRIによる危険体験を実施。



遠州トラック

## ●コンテストの実施

安全運転技術向上の為、ドライバーおよびリフトマンの技能コンテストを実施。日頃の技術を競い合いお互いに安全意識を高めあっている。



遠州トラック

## ●その他の研修・講習

「運行管理者研修」「整備管理者研修」「チェーン講習」  
「事故撲滅トレーナー養成講座」他、各種の研修・講習を実施。



遠州トラック

## ●交通安全教室

地域の幼稚園、小学校、中学校等で交通安全教室を実施。



遠州トラック

## ●地元花火大会への協賛

ふくろい遠州の花火大会メインスポンサー



遠州トラック

## ●スポーツクラブ・大会への協賛

地元のサッカークラブやラグビーチーム、地元出身のスポーツ選手、地域のスポーツ大会への協賛を実施。



遠州トラック

## ●社会貢献活動

社会福祉協議会へ日用品の寄付、防犯ブザー・交通安全啓発DVDの寄贈、交通ルールに関する注意喚起動画の投影等を実施。



遠州トラック

## ●サステナビリティへの取組み

CASBEE評価の取得、太陽光発電パネルの設置、モータリシフトの推進、働きやすい職場認証制度の取得、健康経営優良法人2024(大規模法人部門)認定等。



遠州トラック



2026  
健康経営優良法人  
KENKO Investment for Health  
大規模法人部門



## IV. 中期経営計画(2026～2030年度)

# 前中期経営計画の振り返り 数値目標および事業投資額(連結)

	2025年度(計画最終年度)	
	中期経営計画	実績
営業収益	52,200 百万円	49,947 百万円
営業利益	3,650 百万円	3,108 百万円
事業投資額 (期間累計額)	9,000 百万円	7,860 百万円
ROE (自己資本利益率)	8 %以上	9.4 %
配当性向	30 %以上	31.8 %

袋井ロジスティクスセットセンターが稼働



白鳥西チルドセンターが稼働



都田第2倉庫に太陽光パネル設置



さいたま営業所を移転



遠州トラック

# 中期経営計画

2026-2030



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 企業戦略

1 従業員のエンゲージメントを向上させる

2 戦略商品を核に事業領域を拡大する

3 物流サービスのイノベーションに挑戦する

4 資本コストや株価を意識した経営を実現する

5 社会的課題への取組みを進める

## 主な 事業戦略

1

新しい物流サービスに挑戦し、事業領域を拡大する

2

戦略の推進のための投資を行う

3

人的資本価値を高める投資を行う

4

コンプライアンスを遵守し、コーポレートガバナンスの強化を進める

5

地球にやさしい物流に取り組む

## 1. -2 中継拠点を活用して幹線輸送とエリア配送を繋げたネットワークを拡充する



**中継輸送**  つなく つながる 乗りかえる!!  
日本の真ん中で e-change!!  
e-change



中継輸送による関東・関西間の物流サービスを、  
東北、九州を初めとした各地とも接続させ、  
乗務員不足で困難になる長距離輸送の問題を解決する

# IV - 1. 中期経営計画（EC物流）

## 2. EC(eコマース:インターネット上の電子商取引) 物流を拡充する



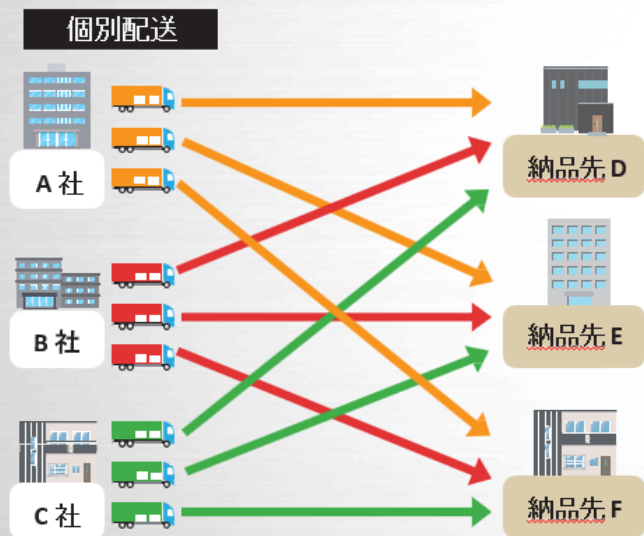
東海道を中心とする幹線輸送 + ラストワンマイル輸送



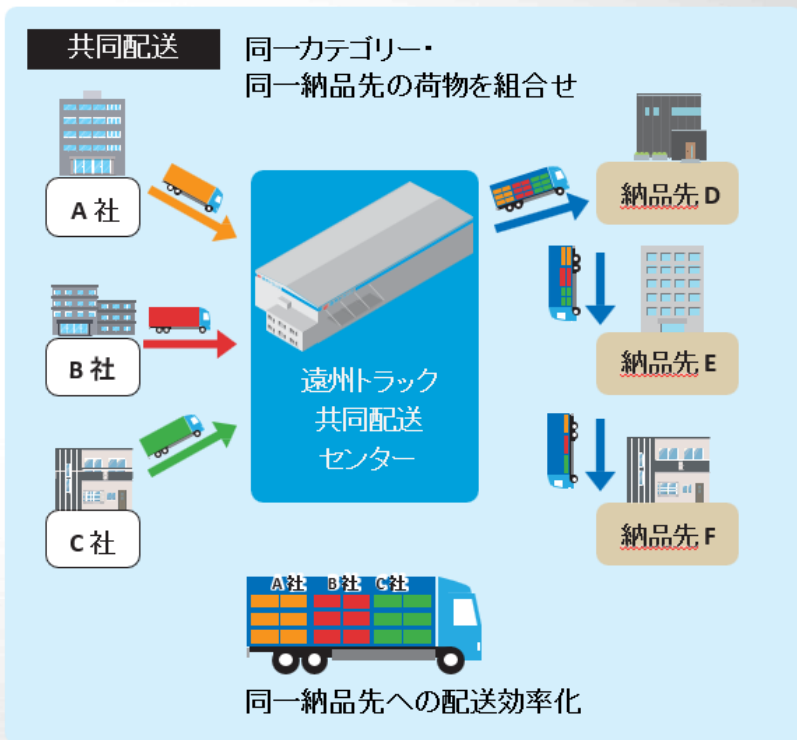
東海エリアでのEC物流ネットワークを活用して  
新たなEC顧客の個配業務を開拓する



## 3. 共同配送網を拡充する



各社毎の配送（非効率）



## 5. 調達物流を進化させる



当社拠点を原料・資材を集積させる場に加えて、セット組み機能や多頻度適時輸送など顧客に最適な納品形態を実現させる場として進化させる

## 数値目標および事業投資額（連結）

	2030年度（計画最終年度）
営業収益	61,000 百万円
営業利益	4,000 百万円
事業投資額（期間累計額）	33,000 百万円

ROE(自己資本利益率)は8%以上を目指す

配当性向は30%以上を目指す

(注) 当資料に記載されている内容は、当社が判断した種々の前提および仮定に基づいたものであり、記載された将来の計画・目標数値、施策の実行を確約または保証するものではありません。実際の業績は、今後の事業環境の変化等様々な要因により異なる結果となる可能性があります。



< IRに関する連絡先 >

**遠州トラック株式会社 総務部総務課**

〒437-0046 静岡県袋井市木原22-1

TEL : 0538-42-1111 FAX : 0538-42-1114

MAIL : [ir\\_box@enshu-truck.co.jp](mailto:ir_box@enshu-truck.co.jp)

Web : <https://www.enshu-truck.co.jp/>